

5年生 食に関する指導 指導案

日時 令和4年11月18日(金)第4限目

場所 5年生教室

指導者 T1 教諭 T2 栄養教諭

1、題材名「地産地消について考え、紀北町産の食材を知ろう」

2、本時の指導

(1)目標

- ・地産地消の大切さを知る。
- ・地域で作られている食べ物を大切にしようという意欲を持つ。
- ・地域のつながりを感じ、地域の人へ感謝することができる。

(2)食育の視点

- ・日常の食事は、地域の農産物と関連していることを知る。(食文化)
- ・食生活は生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていることを知る。(感謝の心)

3、指導過程

	学習活動	指導上の留意点	資料
導入	1、今日のテーマの地産地消とはどんな意味なのかを知る。	(T1) 今日のめあてを提示する。 (T1) 地産地消とは何か考えさせる。 地産地消・・・地域で作られたものを地域の人たちで食べる(消費する)こと	
展開	2、みえ地物一番給食の日について知る。 3、給食に三重県産の食材がたくさん使われていることを知る。	(T2) 給食においても地産地消に取り組んでいることを伝える。 (T2) 第3日曜日とその前日が「三重地物一番の日」とされており、その前後1週間のなかで「みえ地物一番給食の日」を設定していることをおさえる。 (T2) 「みえ地物一番給食の日」には、地場産物が使われていることをおさえる。 (T2) みえ地物一番給食の日の献立を例にし、いくつぐらい地物の食材が使われているのか予想させる。 (T2) 給食の食材がどこからきているのかを提示する。	文字パネル 給食の写真 食材カード 三重県地図
	4、紀北町の産物を	(T2) 過去の地物一番給食の日を参考に、紀	給食の写真

	知る。 5、地産地消の良いところを考え、発表する。	北町産の食材を考えさせる。 (T1) 地産地消のいいところを考えさせる。 ・距離が短い→新鮮、安い ・生産者がわかる→安心 ・使用する車が少ない→環境によい ・地域の活性化につながる など	過去の献立 食材カード 文字パネル 文字パネル
まとめ	6、本時の学習の振り返りをする。	(T1) 振り返りをワークシートに記入させ、発表させる。 (T1) 地場産物のいい所を確認し、すすんで食べるように促す。	ワークシート

4、評価

- ・地産地消について知り、その良さについて考えることができた。
- ・給食に地場産物が使われていることを理解できた。
- ・紀北町の地場産物について考え、知ることができた。

5、板書計画

地産地消について考え、紀北町産の食材を知ろう

地産地消とは・・・
地域で作られたものをその地域で食べる(消費する)こと

給食の地産地消

みえ地物一番給食の日

地物一番給食の日の献立

食材カードと三重県地図

紀北町産食材のカードと業者名カード

地産地消のいいところ

- ・新鮮
- ・生産者が身近で安心
- ・環境に良い
- ・地域が活性化する など